

営農ウィークリーNEWS

秋の農作業安全運動 実施中！

「しめよう！シートベルト」

秋の重点呼びかけ事項

安全キャブ・フレーム付きトラクターでは、

シートベルト・ヘルメットを着用しよう！



コンバインやトラクターの運転では、**死角に注意！**

後進時にはより慎重に運転しよう！



コンバインの詰まりなど**農業機械の点検・整備は**

必ずエンジンを停止し、十分な安全を確保して作業しよう！



事故防止のための注意事項

- ほ場の出入りや段差に十分注意して、転落・転倒による事故を防ごう
- 耕耘機での後退時は後方確認を徹底しよう
- 作業機を付けて公道走行する際には、灯火器類、作業機幅、運行速度、運転免許を確認しよう
- 給油の時には必ず機械を停止！こぼれたらすぐにふき取り、余った燃料は適正な容器と場所で保管しよう
- 作業環境を改善し、危険箇所をなくそう

米の季節になりました！

農業倉庫への鳥類侵入防止対策を徹底！

産米の保管場所となる農業倉庫への鳥類侵入を防止する対策工事として、JA京都中央で産米出荷量が最も多い地域にある農業倉庫（向島事業センター）で、鳥の侵入口となる倉庫の出入り口にネットを設置しました。

近年、消費者の食への安全志向の高まりや、衛生管理を徹底し安全安心の産米を提供する目的に行いました。



—TAC information—

農産物検査員の鑑定研修会を開催



9月12日、JAの農産物検査員有資格者を対象に鑑定研修会を西南部経済センターで開きました。研修会は、農産物検査員の検査技術向上と適正検査を目的に行っています。JA京都中央では、9月16日から米検査がスタート。10月末まで300トンの集荷を予定しており、指定の検査場所において延べ30カ所の検査を予定しています。集荷された産米は、全量、JA全農京都へ売り渡します。



正しく結んで、荷崩れ防止！

「産米紙袋」の荷造り方法および手順



1

米を袋に詰めたら「京都米」の印刷面を手前にして袋の両端をもつ。



2

袋の中の空気を抜いて「京都米」の印刷面の反対側に折り込む。



3

手前（「京都米」の印刷面）から前に向かって押さえながら袋の口を折り目に沿って前に1回折り込む。



4

続けてもう1回折り込む。（2回目）



5

更にもう1回折り、3回目の折り目が袋に引かれている緑色の横線に合うように折り込む。



6

面端を平らにして、緑色の縦線にあわせて両端をしっかりと折り込む。



7

余分がないよう口ひもをからませる。

注※ 余分があると破裂する恐れがあります。



8

ひもの根元で「真結び」にする。「たて結び」にならないように注意する。



9

荷造り後、一旦袋を倒して中心部分を軽く鎮圧する。出来上がり。